

令和4年度 第1回四万十町社会教育委員会 議事録要旨

日時：令和4年7月1日（水） 10：00～12：00

場所：四万十町役場東庁舎2階 町民活動支援室

参加者

社会教育委員：酒井 紀子 中脇 由美 松下 正明 川田 弘人 小橋 匠

（欠席者：金子 仁 平野 勝己 本井 ゆき 八木 敏伸）

事務局：教育長 教育次長 生涯学習課長 田辺 佐竹 片岡 森

文化的施設整備推進室：大元 大河原 西尾 松下

議題

- （1）四万十町社会教育委員会活動報告
- （2）令和3年度実績及び、令和4年度社会教育事業計画について
- （3）その他

（中脇 副委員長）

議題（1） 四万十町社会教育委員会活動報告について
～事務局から説明を行った～

（中脇 副委員長）

質問はありませんか。

（中脇副委員長）

先日、津野町で行った高岡地区社会教育委員連絡協議会総会に出席した。
高岡地区や高知県の会議に出席するといつも他市町村のパワーに圧倒される。
コロナの状況もあり出席しづらいとは思いますが、ぜひ町外の会議にも出席していただきたい。

（酒井委員）

事業計画にある会議すべてに出席した方が良いのか。それが委員の役割なのか。

（事務局 森）

可能な範囲内で町の社会教育委員会のみならず、県や郡の会議にも積極的に参加していただきたい。

（中脇 副委員長）

議題（2） 令和3年度実績及び、令和4年度社会教育事業計画について
～事務局から説明を行った～

（中脇 副委員長）

質問はありませんか。

（酒井委員）

事業別の予算はここにある通り把握できるが、生涯学習課全体の予算はいくらあって予算は足りているのか。

（生涯学習課長）

生涯学習課は、ここにある事業の他にも、施設の維持・管理等がある。現在、施設改修に費用が多くかかり、予算は十分かと聞かれるとなかなか厳しい状況にある。

(松下委員)

3点ほど教えていただきたい。

まず1点目、16ページの文化財の活動について昨年度と比較すると大きく予算額が減ってる。その実情を聞きたい。

次に、コロナ関係でさまざまな事業が中止になっている。今後も同様の事態が想定できる。予算を確保しても予定通りに執行できないことがこれからもある。文化的なものは、オンラインでできるものは積極的にやるようにしていかないといけない。スポーツの分野では例えばオンラインで部活動するというのも全国的に流行っている。社会見学等もコロナが拡大したらオンラインでやるなど工夫しながら事業を展開できないか。

最後、生涯学習課予算の昨年度比較があれば良い。町全体の予算と生涯学習課の予算等わかりやすい表などがあれば資料につけてほしい。

(生涯学習課長)

まず1点目の文化財について、昨年度との予算の違いは当初予算編成時には文化財修繕の相談が今年度なかった。今後、所有者から修繕等の相談があれば補正対応していく予定。

(教育次長)

予算については、翌年度に必要なについては前年度の11月に計画し計上している。

今後修繕が必要だという話は出てくるので、6月12月3月の議会に諮り補正している。

(生涯学習課長)

課内でもオンラインについては今後取り組みたいと思っている。ただオンラインを行う場合庁舎内のネット環境やトラヒックの問題、機材等を整備する必要があるので関係課と調整しながら進めていく。

(松下委員)

状況はよくわかる。ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。これが立ち遅れると多分全国的に立ち遅れていると思うので、もうこの流れは止められないと思う。オンラインは子供たちや町民全体にも歓迎されるんじゃないかなと思います。

(生涯学習課長)

3点目の予算等の枠組みについては、今後わかりやすい資料を付けるようにする。

(小橋委員)

主に小学生に関わる事業になるが、P9・P10の年間の見通しがあればいただきたい。

P9については学校単独でも実施している事業がある。学校で実施しなければ、教育委員会のほうに参加を促すことができる。

(田辺)

P9のわんぱく学校については本年度3つ計画している。1つ目は7月26日～28日に室戸市に行き宿泊研修を行う。2つ目は8月18日19日に町内宿泊研修を予定している。最後冬場はスキー研修を行う予定。ただお金を払って参加していただくだけでなく、他校との交流や何かを作り達成感が得られるような研修になるよう取り組んでいく。

(生涯学習課長)

P10の青少年育成補導推進事業も含め、年間スケジュールを作成し校長会に提示し参加を促せるようにします。

(川田委員)

P5の町行政方針が4つあると思うが、各事業がこの4つのどれを狙っているのかわかりやすくしたほうがよい。

もう一つ今年から高校では地域活動を実施している。各団体をお願いをしてさまざまなことに取り組んでいる。スポーツに関しても地域活動を応援するような予算が確保できらお願いしたい。

(教育次長)

5年計画の個別計画があり、各事業をどの時期に実施していくか記載したものがある。どの事業がどの柱に紐づいているのかお示ししていきたいと思う。
地域活動について、中学の部活動については学校教育課が担当しており、部活動を実施する為の支援をしている。ただ高校は義務教育から外れているので今後検討していく。

(酒井委員)

ラインでのお知らせするのすごく助かっている。
子供のランドセルから出てくるプリントの量が多い。期限に余裕があるものは後回しになり忘れてしまう。ラインであれば後から見返すこともできる。
教育費の予算は町全体予算に対して6%と認識している。人材を育てるなどのスローガンがあるにもかかわらず少ないように感じる。ICT教育に関する予算も少ないように感じる。オンライン教育を引っ張って行く気持ちがあるのか。
高齢者向けの学習についても、最近は高齢者福祉施設でも大学レベルの内容を教えてくれるのが高齢者はうれしいとのことで、お年寄りを元気にさせるためにアップデートしてほしい。

(教育長)

委員おっしゃるとおり、資料が見にくい部分がある。
今後資料を修正しながら見やすい資料にし、お示しします。
予算については、そこそこ獲得しているがそれが本質的に子供に跳ね返っているか、家庭教育に跳ね返っているか議論していただきながらこういう場面で意見をいただきたい。
ICT教育についても、町内は光回線があるので有利になっている。しかしネットに加入していただかないといけないのがネック。義務教育の間は平等に教育が受けれるようにしていきたいと思う。その都度皆さまからご意見をいただきよりよいものにしていきたい。
高齢者については、シルバー大学等で教室などを開催する等工夫していきたい。

(教育次長)

予算について補足ですが、保育の運営に関しては児童福祉法に基づいているため民生費に含まれている。そのため、教育費と民生費を合計すると教育委員会では12億以上の予算を確保している。

(中脇副委員長)

2点質問します。
P19 町立図書館・美術館管理運営事業について、昨年度に比べると入館者数や貸出冊数は増えている。お知らせをしてくれていたオーテピアとこちらの改善センターとオンラインつなぎ開催イベントがあった。今後もオンラインで外部とつながりながら事業を展開してほしい。
次に保育園について、保育園設備について古くなってきたものが多く見受けられる。今後熱くなってくるのでエアコン環境等大丈夫か。

(佐竹)

エアコンは全保育園に整備している。老朽化している保育園は多くあるため小学校の適正配置計画を確認しながら整備計画を立てて行く。

(中脇副委員長)

その他に意見はありませんか。
内容ですので休憩後その他に移ります。

(中脇副委員長)

議題 (3) その他で文化的施設整備推進事業について

～企画課 文化的施設整備推進室から説明～

(中脇副委員長)

質問はありませんか。

(委員)

観光への活用の具体的なイメージはあるのか。

(大元政策監)

この施設を拠点にして様々な波及効果を狙っている。観光をターゲットにするのかはこれから考えていくが、あくまでも町民の皆さんをメインとして考えている。

(大河原)

文化的施設の近くには岩本寺さんがあったり半平カフェがあったりと観光客に向けた情報発信等はソフトの部分でやっていきたい。

(川田委員)

いくつか文化的施設に関わってきたが、最初のイメージが結局立ち上がると変わってしまっているということがいくつかあった。最初にイメージをしっかり持ってやるほうが良い。立ち上がって管理部署が移管された場合持ってイメージが変わってきたりする。私は観光とかを紐づけるのはよいとおもう。今後維持管理費が必要になってくるので、町民だけが使用するのではやっていけない。遠くから来てくれる方が町財政を潤してくれる。

(酒井委員)

少し前に観光推進協議会があり、その中でジップラインや道の駅を利用した方が、ジップラインの待ち時間中に、町の情報を得る場所があれば良いという話があった。私は旧小鳩保育所を管理しており、そこで川の歴史や十和の歴史が説明できる施設があれば関係人口が築けるのではないかと思った。

(大元政策監)

大河原館長は、津山市での図書館経験を経て当町にきている。これからどんどん広がりができるようにしていく。

(中脇副委員長)

昨年、こちらの金子委員が休館日について意見を言っていた。本日の資料を見るとその意見が反映されている。これからも小さい声からいろんな声を拾いながら文化的施設を作っていただきたい。

他に質問がなければ以上で終了します。

閉会